

車いすの暴れん坊

米倉仁さん自叙伝出版祝賀会

世界一のユニバーサルデザイン社会の実現を目指す活動している、米倉仁さん（ヘルプメイトグループ代表取締役社長、NPO法人自立支援センターおおいた会長）が自叙伝「車いすの暴れん坊」を出版。19日夜、ヒットパレードクラブで祝賀会が開かれた。

米倉さんは1961年福岡市生まれ、若い頃は不良でやんちゃもした

に。ユニバーサルデザイン社会の実現に向け、精力的に活動を続けている。

自叙伝は、若い頃から車いす生活になったこと、ユニバーサルデザインのアパートを造ったり障がい者の自立、介護制度の問題点、今後の夢など米倉さんの思いが詰まっている。「いじめられたり、不良になったり障がい者になったり、いろんな人生を経験した中で、考えをじっくり持っていていけば生きていける」ということを伝えたい。障がい者がおかれている現状についても伝えられれば」と出版への思いを話した。

会場には、米倉さんの人柄を表すように、幅広い職種の人が集まった。



多くの仲間が囲まれてあいさつをする米倉さん（中央）

祝賀会の呼びかけ人を代表して、菅健一さんが「バリアフリーのコンサルタントをやりたい」と知り合った当時から言っていた。自分の夢を実現しながら、みんなの障がいについても訴え、思いを実現してきたと思う。次は何をするのかと思う」とあいさつ。長野縣総市長も「障がいがあるのに関わらず、社会への自立の扉をこじ開けて戦ってきたとあったが、

その通りにやってきた人。これからも役割は変わらないと思う。誰もがド肝をぬかれることをやってほしい」とエールを送り、広瀬勝貞知事からのメッセージも紹介された。

その後も多くの仲間がメッセージを送り、盛り上がった。自叙伝は四六判200ページ、1200円（税別）。全国の書店で発売されている。